2017年度 第2四半期
決算説明資料

2017年11月13日（月）

船井電機株式会社

証券コード　６８３９

Ⅰ．決算概要（連結）

1. 第2四半期(2017年7月-9月) 決算概要
2. 第2四半期累計(2017年4月-9月) 決算概要
3. 第2四半期累計(2017年4月-9月) 経常利益・四半期純利益
4. 機器別売上高
5. ＤＶＤ関連機器の売上高
6. テレビ関連機器の売上高
7. 情報機器の売上高
8. 仕向地別売上高
9. 営業利益増減要因
10. 貸借対照表の状況
11. 棚卸資産
12. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

1．第2四半期(2017年7月-9月) 決算概要

（単位：億円）

	2016年度 2Q	2017年度 2Q	前年同期比 (　)は増減率
売上高	411	401	△10 (△2.3%)
営業利益 (営業利益率)	△7 (△1.8%)	△17 (△4.3%)	△10
経常利益 (経常利益率)	△16 (△3.9%)	△14 (△3.7%)	+2
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	△19 (△4.6%)	△115 (△28.9%)	△96

期中平均為替レート（米ドル）	102.90円	111.16円

月末為替レート	16年6月	16年9月	17年6月	17年9月
（米ドル）	102.91円	101.12円	112.00円	112.73円

2．第2四半期累計(2017年4月-9月) 決算概要

（単位：億円）

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計計画	2017年度 2Q累計	前年同期比 (　)は増減率	計画比 (　)は達成率
売上高	661	814	721	+60 (9.1%)	△93 (88.6%)
営業利益 (営業利益率)	△36 (△5.5%)	6 (0.8%)	△40 (△5.6%)	△4	△46
経常利益 (経常利益率)	△74 (△11.3%)	7 (0.9%)	△36 (△5.1%)	+38	△43
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	△76 (△11.5%)	4 (0.4%)	△130 (△18.1%)	△54	△134

期中平均為替レート（米ドル）	105.72円	110.00円	111.29円

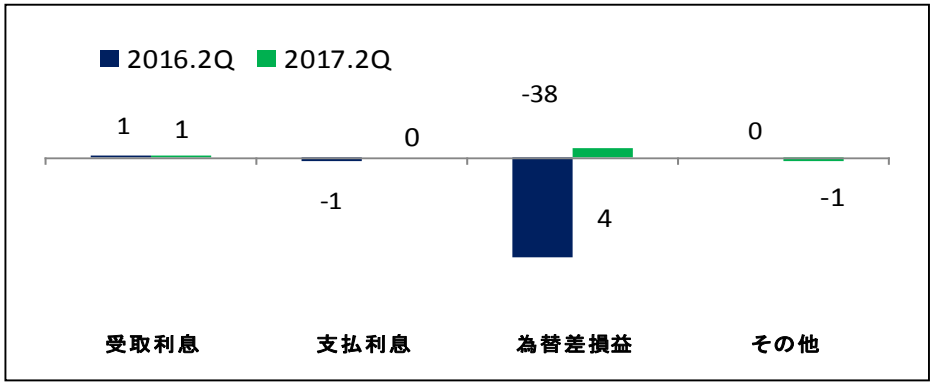
月末為替レート	16年3月	16年9月	17年3月	17年9月
（米ドル）	112.68円	101.12円	112.19円	112.73円

3．第2四半期累計(2017年4月-9月) 経常利益・四半期純利益

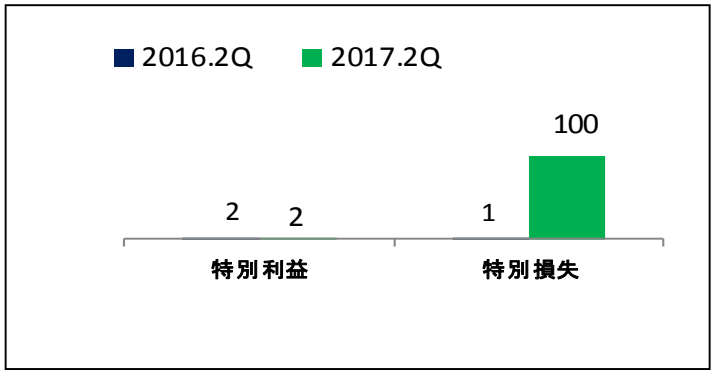
（単位：億円）

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	前年同期比
営業外収益	(※1) 2	7	＋5
営業外費用	(※1) 40	3	△37
経常利益	△74	△36	＋38
特別利益	(※2) 2	2	0
特別損失	(※2) 1	100	99
税引前純利益	△73	△134	△61
法人税等	3	△4	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	△76	△130	△54

（※1　営業外損益内訳）　マイナス表示は利益にマイナス影響



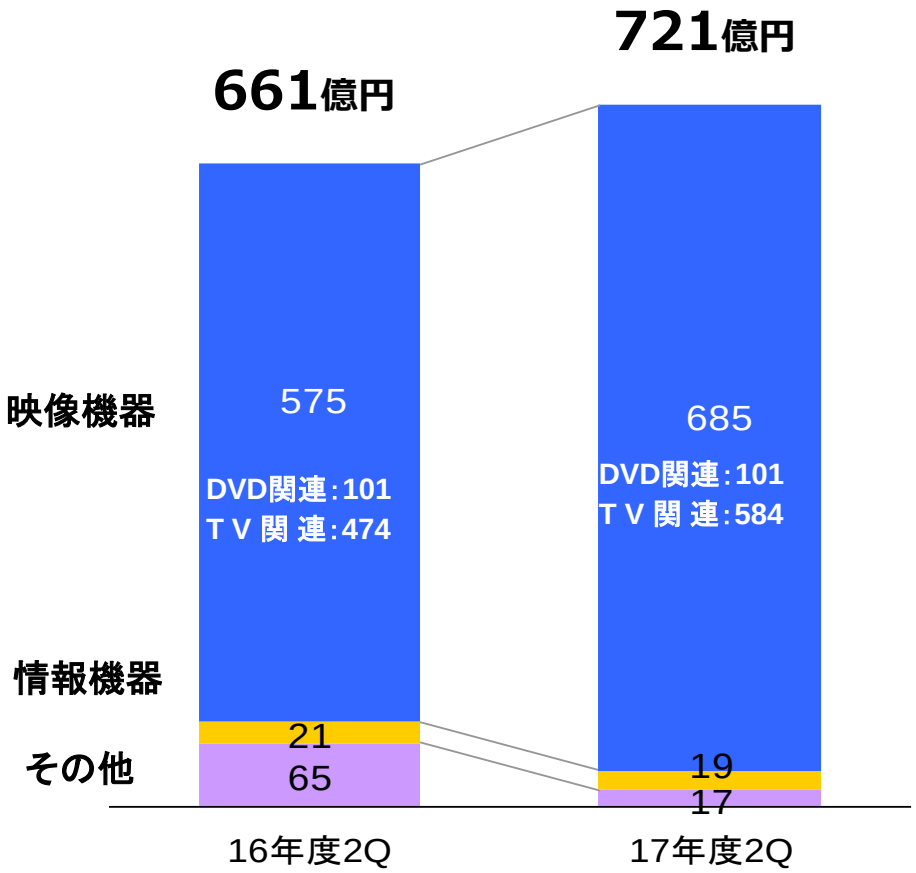
（※2　特別損益内訳）



4．機器別売上高

- 映像機器：液晶テレビの販売が好調につき増収
- 情報機器：インクジェットプリンター及びインクカートリッジの売上減少により減収
- その他機器：DXアンテナ譲渡により受信関連用電子機器の売上がなくなり減収

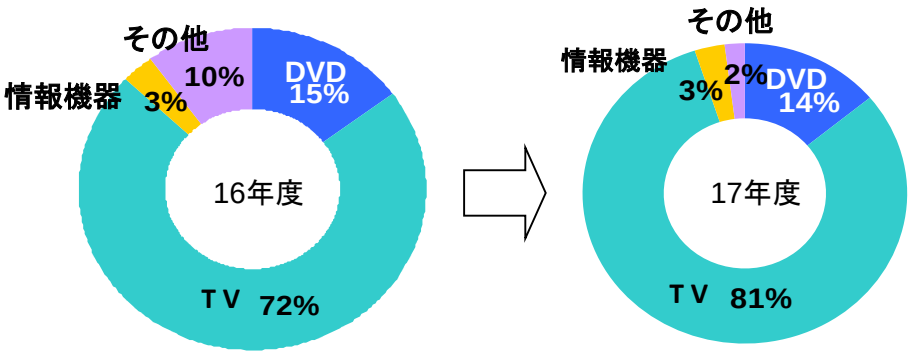
（単位：億円）



前年同期比　（　）は増減率

映像機器	＋110億円	(+19.2%)
DVD 関連	0億円	(+0.9%)
TV 関連	＋110億円	(+23.1%)
情報機器	△2億円	(△11.0%)
その他	△48億円	(△73.5%)
合計	+60億円	(+9.1%)

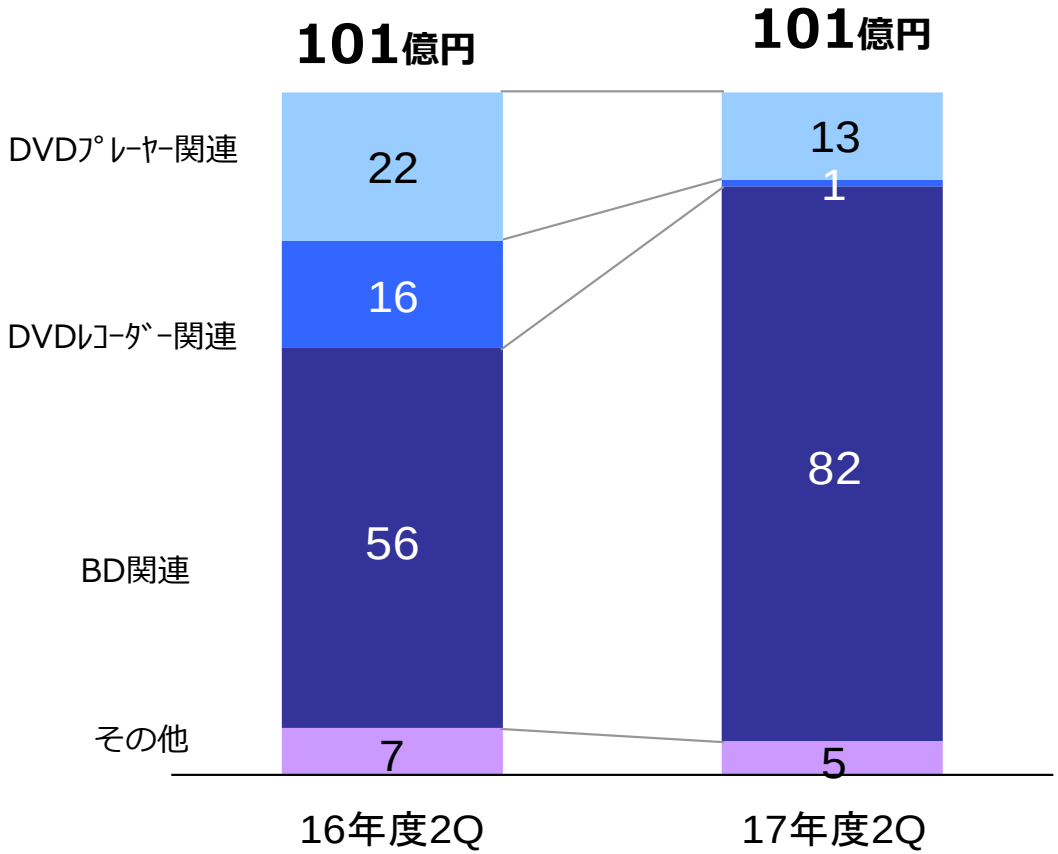
売上構成比



5．ＤＶＤ関連機器の売上高

FUNAI

➢ DVD関連の売上が減少しましたが、BDプレーヤーおよびレコーダーの売上が増加したことにより横ばいを維持

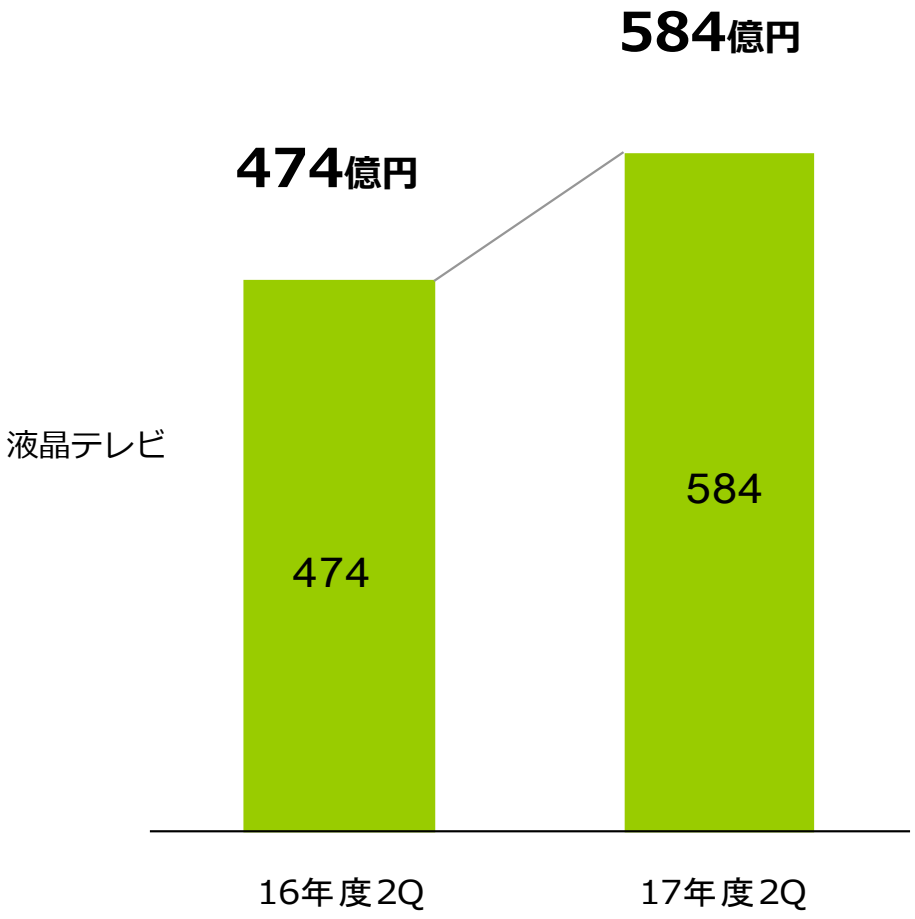


前年同期比　（　　）は増減率

DVDプレーヤー関連	△9億円	(△39.8%)
DVDレコーダー関連	△15億円	(△91.2%)
BD関連	＋26億円	(＋45.4%)
その他	△2億円	(△27.0%)
合計	0億円	(＋0.9%)

6．テレビ関連機器の売上高

➢ 液晶テレビにおける主流インチサイズの大型化に伴う販売単価の上昇、
国内のヤマダ電機独占販売などにより増収

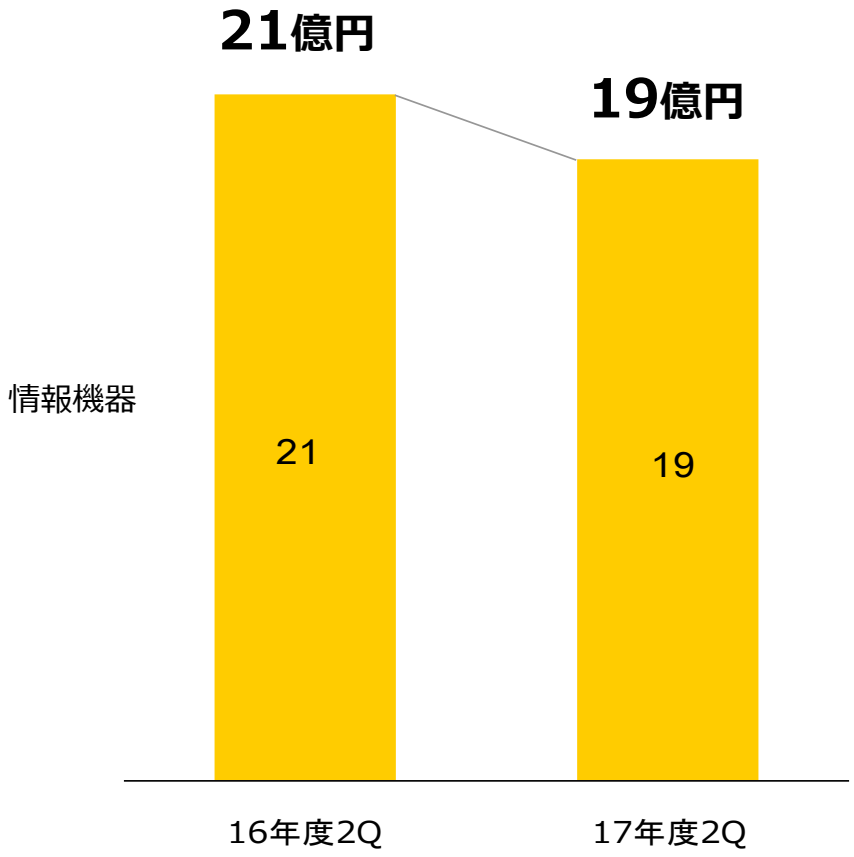


前年同期比　（　　）は増減率

液晶テレビ　：＋110億円　（＋23.1%）

7．情報機器の売上高

➢ インクジェットプリンターとインクカートリッジの売上減少により減収

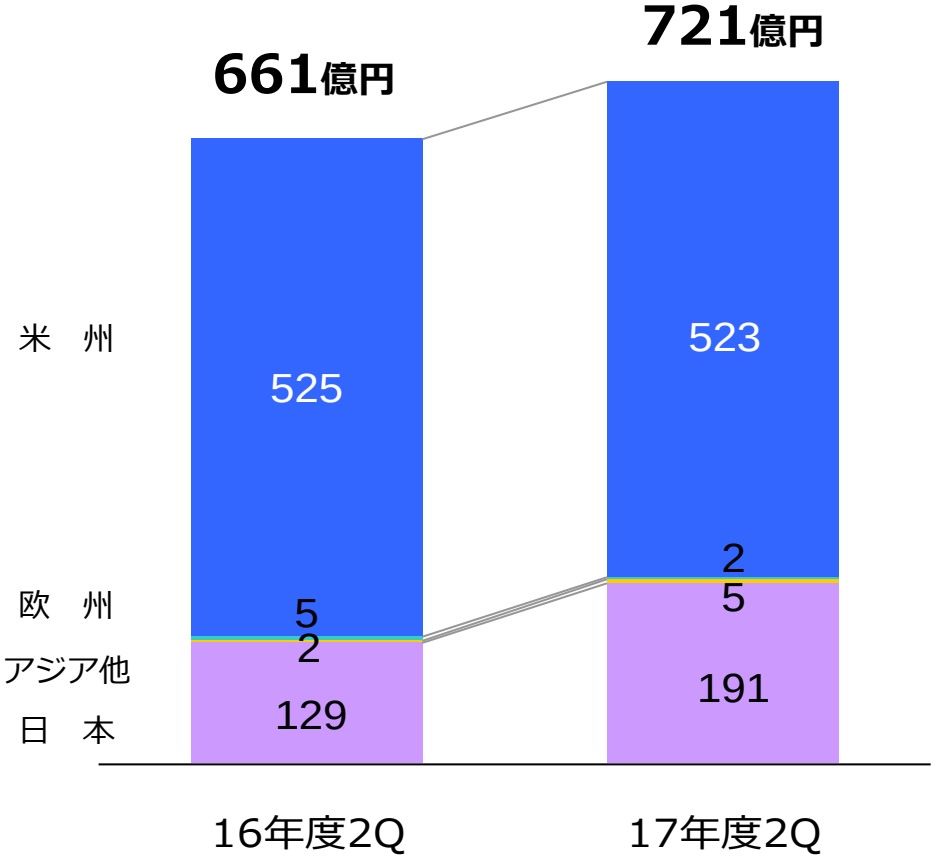


前年同期比　（　　）は増減率

情報機器　：△2億円　（△11.0%）

8．仕向地別売上高

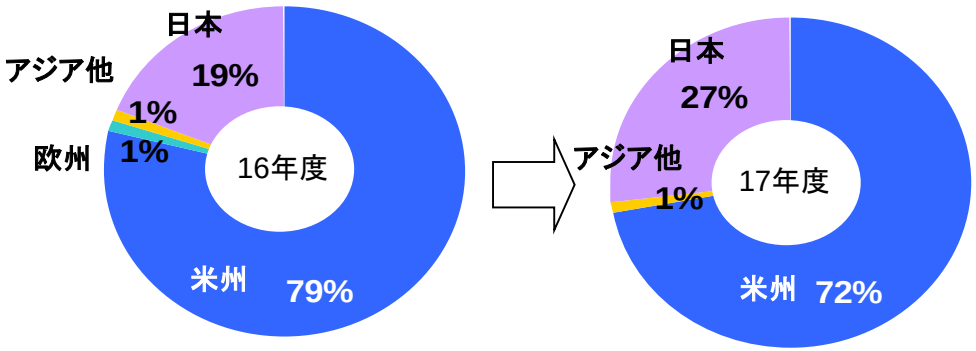
- 米州：DVD関連が減収となりましたが、液晶テレビにて増収
- 日本：液晶テレビ、BDレコーダーが好調につき増収



前年同期比　（　　）は増減率

米州	△2億円	(△0.5%)
欧州	△3億円	(△49.7%)
アジア他	＋3億円	(214.9%)
日本	+62億円	(48.1%)
合計	+60億円	(9.1%)

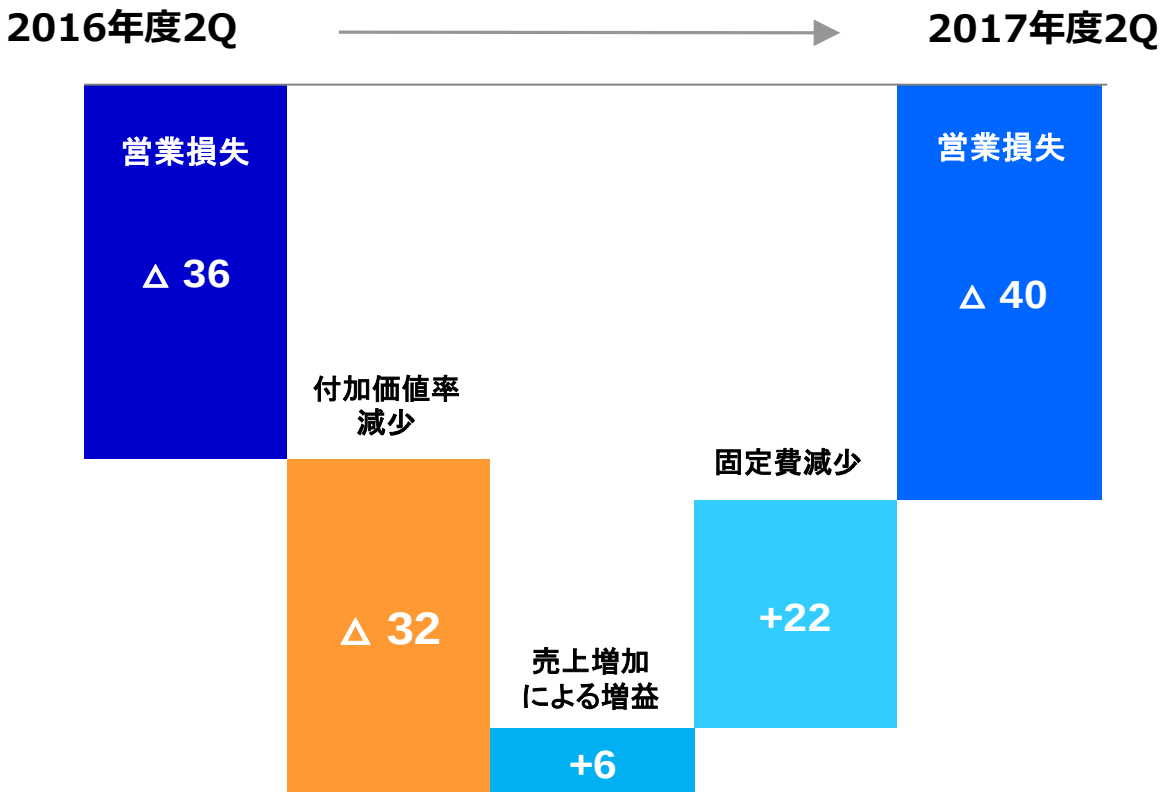
売上構成比



9．営業利益増減要因

（単位：億円）

前年同期比

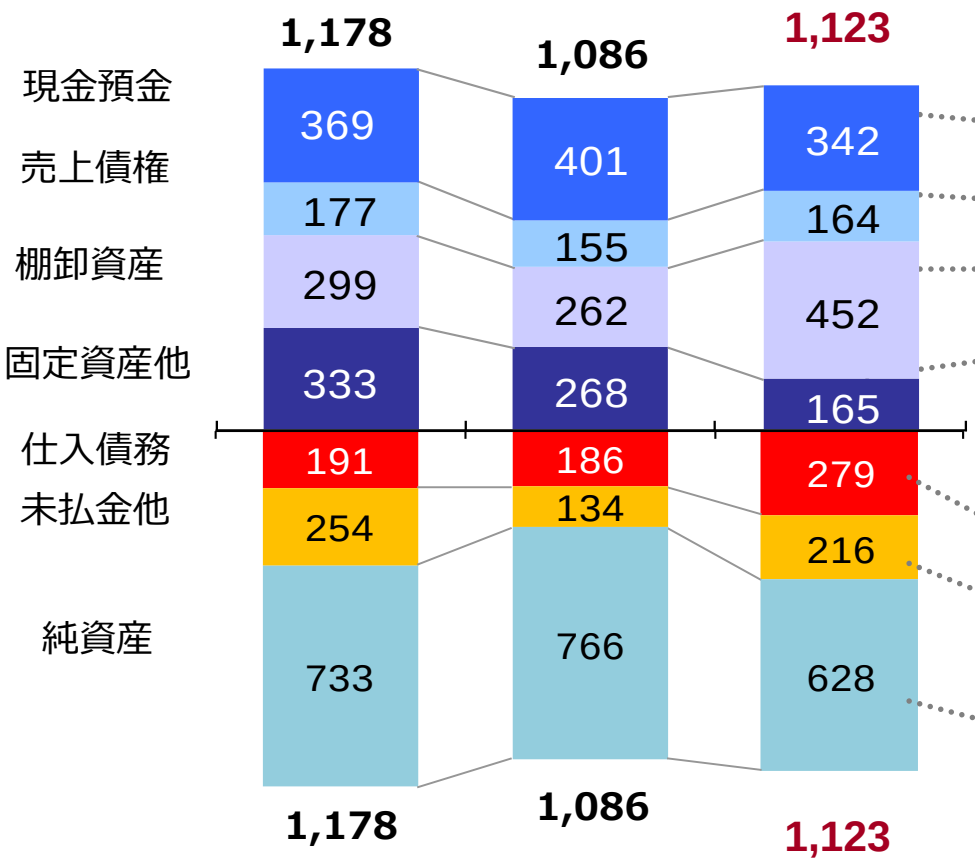


１０．貸借対照表の状況

（単位：億円）

資産の状況

負債・純資産の状況



前年同期比

資産の状況	△55億円
・現金預金	△ 27億円
・売上債権	△ 13億円
・棚卸資産	+ 153億円
・固定資産他	△ 168億円

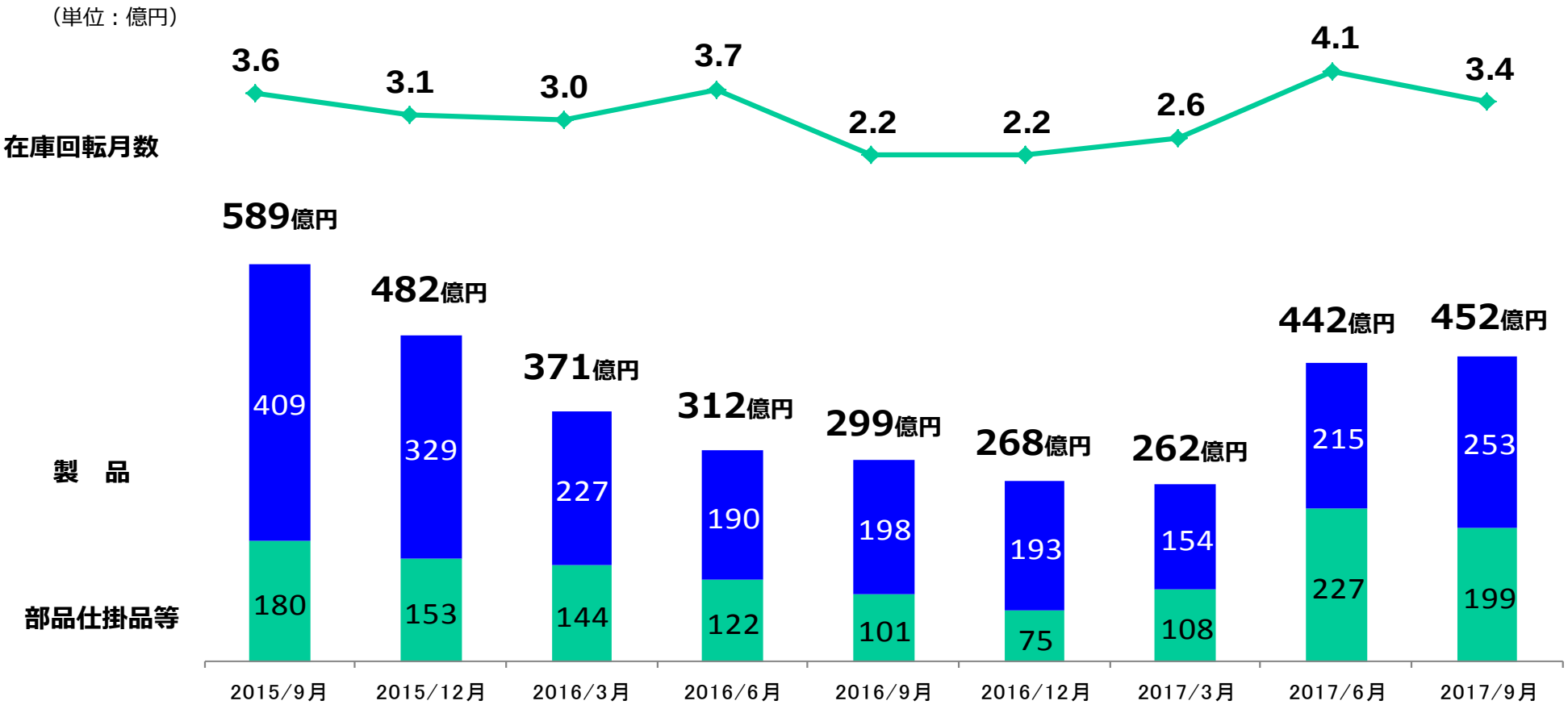
負債の状況	+ 50億円
・仕入債務	+ 88億円
・未払金他	△ 38億円
純資産の状況	△105億円
（自己資本比率	*55.9%）*

2016年9月末　2017年3月末　2017年9月末

１１．棚卸資産

2016年9月末比

製　品	： ＋ 55億円
部品仕掛品等	： ＋ 98億円



＊在庫回転月数　＝　直近3か月売上平均　÷　棚卸資産

１２．設備投資額・減価償却費・研究開発費

第2四半期

設備投資額

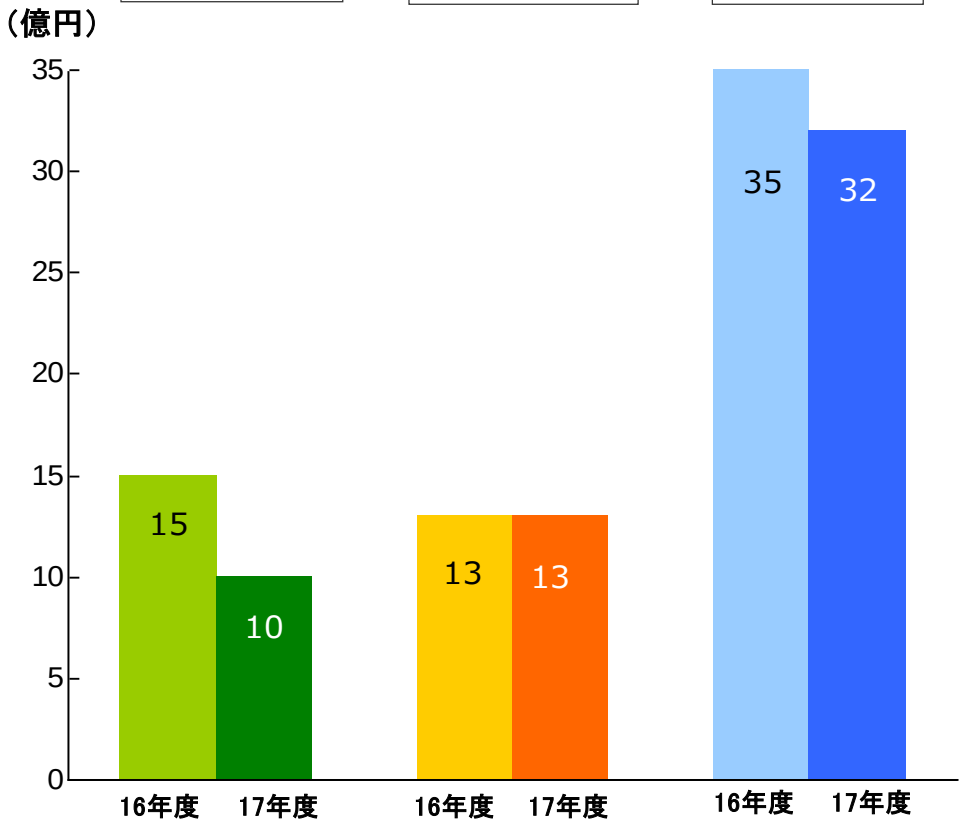
前年同期比
△5億円

減価償却費

前年同期比
―

研究開発費

前年同期比
△3億円

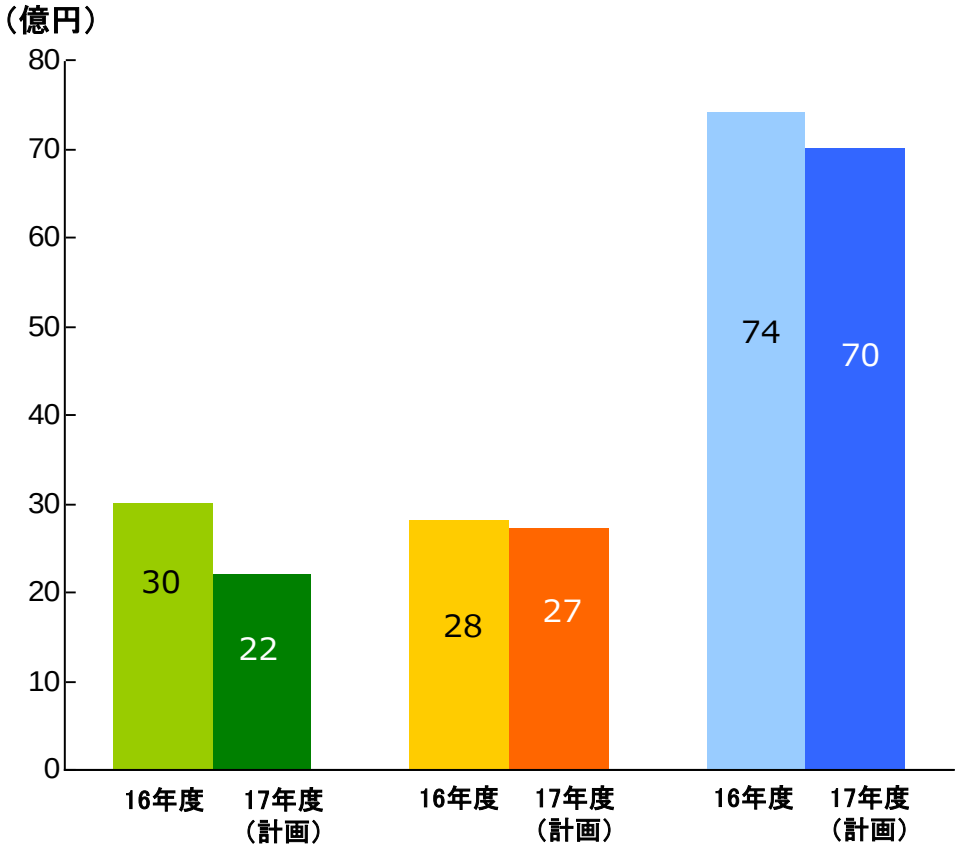


通　　期

設備投資額

減価償却費

研究開発費



補足資料

1. 四半期別決算概要
2. 機器別売上高の推移（四半期）
3. 仕向地別売上高の推移（四半期）

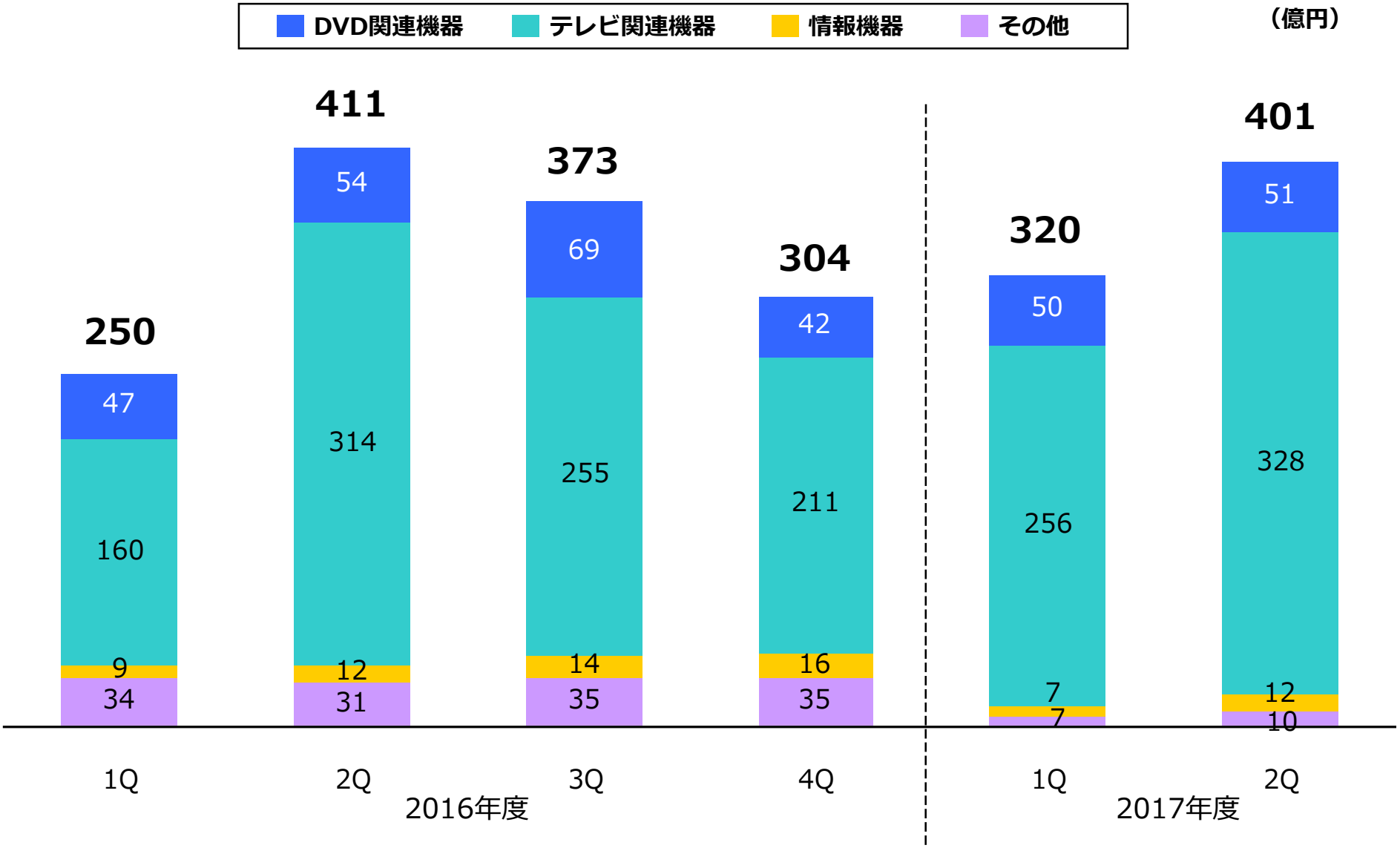
1． 四半期別決算概要

（単位：億円）

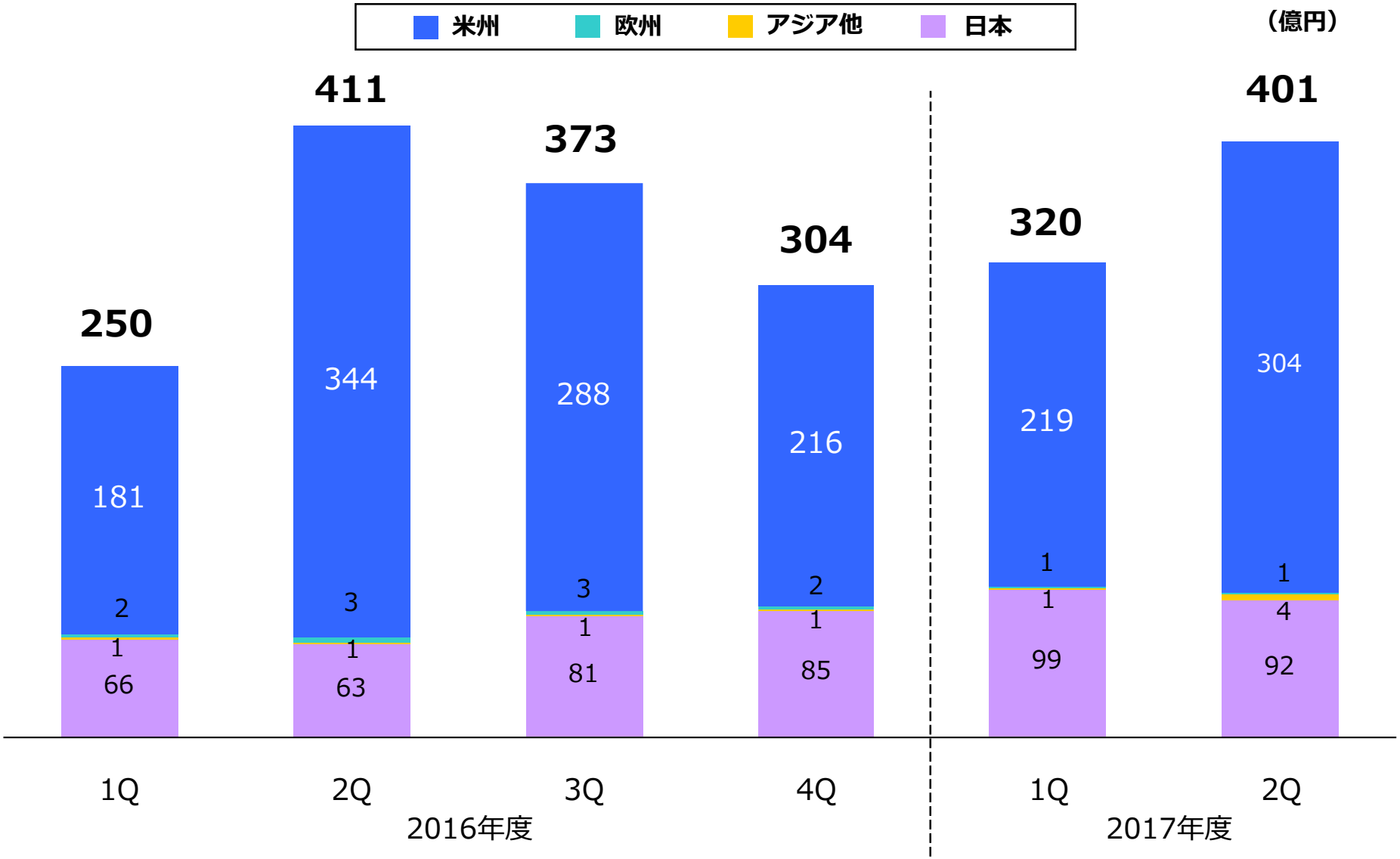
	2016年度				2017年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	250	411	373	304	320	401
営業利益	△28	△7	△10	△21	△23	△17
(営業利益率)	(△11.5%)	(△1.8 %)	(△2.7%)	(△7.1%)	(△7.3%)	(△4.3%)
経常利益	△58	△16	26	△28	△21	△14
(経常利益率)	(△23.4%)	(△3.9%)	(7.0%)	(△9.4%)	(△6.7%)	(△3.7%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△57	△19	23	△14	△15	△115
(四半期純利益率)	(△22.8%)	(△4.6%)	(6.2%)	(△4.7%)	(△4.7%)	(△28.9%)

為替レート (円／米国ドル)	108.53	102.90	111.25	112.85	111.41	111.16

2．機器別売上高の推移（四半期）



3．仕向地別売上高の推移（四半期）



注意事項

本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。